



## 院長就任のご挨拶



### 院長 西ヶ谷和之

Nishigaya Kazuyuki

平成27年4月1日付で当院の院長に就任しました。私は静岡市清水区に生まれ育ち、大学卒業後は脳神経外科医となって、大学や地域病院に勤務した後、平成11年4月に当院に赴任し現在に至っております。

当院は数年前より、急性期病床、地域包括ケア病床、慢性期病床を有する病院へと徐々に転換し、いわゆるケアミックス型の病院として現在は運営されています。現在の日本は、後期高齢者が増加していくという問題、医療費が増大していくという問題をかかえ、高齢者の医療に対しては地域包括ケアシステムの構想をもって問題を解決していこうという政策のようです。当院はすでにケアミックス型病院に生まれ変わっており、それに対する準備を進めているところであります。急性期医療に関しては、住民のニーズに対応した医療を十分に提供しているとは言い難いと思いますが、今後、診療科の充実のために医療従事者の確保に、全力を注いでいくつもりです。地域の住民の皆さまに満足していただけるような病院にしたいと考えております。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

### 西ヶ谷院長プロフィール

- ◆出身大学 群馬大学
- ◆卒業年 昭和57年
- ◆所属学会・資格等
  - 日本脳神経外科学会・専門医
  - 日本脳卒中の外科学会
  - 日本脳神経外科コンgres
  - 日本脳ドック学会
  - 日本脳神経血管内治療学会
  - 日本定位放射線治療学会
- ◆専門分野
  - 脳卒中（くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞）・脳腫瘍・頭部外傷・水頭症および認知症の治療

### 病院理念

1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
2. 患者中心の全人的医療を提供する。
3. 健全な収支の確立に努める。
4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。

### 基本方針

1. 病院中期経営計画の目標を達成する
2. チーム医療を促進する。
3. 経営資源を適切に活用する。
4. 倫理観を持って行動する。

# 新任医師のご紹介

## 消化器内科 科長 宇山 亮



- ◆出身大学：昭和大学 ◆卒業年：平成9年
- ◆所属学会・資格等：  
外科学会 内視鏡学会 消化器外科学会  
臨床外科学会 消化器病学会  
消化器内視鏡専門医 消化器外科専門医  
外科学会専門医 内視鏡外科学会技術認定 産業医
- ◆専門分野：  
消化管（胃・大腸）

### ひとこと

消化器医として、外科手術、胃・大腸の内視鏡などに従事してきました。何だかお腹がすっきりしない、お腹が張る、下痢・便秘かしら？お口からお尻までお腹のことならいつでもご相談ください。

## 消化器内科 医長 横山 ともみ



- ◆出身大学：宮崎大学 ◆卒業年：平成16年
- ◆所属学会・資格等：  
内科学会 認定内科医  
消化器病学会 消化器内視鏡学会  
臨床腫瘍学会 癌治療学会 医学博士
- ◆専門分野：  
消化器癌の化学療法  
緩和治療・炎症性腸疾患 など

### ひとこと

生まれも育ちも宮崎県で、4月まで宮崎大学医学部附属病院で働いておりました。この度、結婚を機に富士市に転居し、共立蒲原総合病院で働かせていただくことになりました。以前に2年間、静岡がんセンターにレジデントとして勤務しており、毎日富士山が見えるところにまた戻ってこられたことを嬉しく思っています。微力ながら、内科の分野で地域に貢献できますよう、精一杯頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

# さらに進んだC型肝炎治療 - インターフェロンフリーの時代へ -

副院長 河合 勉

ウイルス性肝炎はB型・C型肝炎ウイルスによる感染症で、長年かかって慢性肝炎、肝硬変また肝臓癌になることが多い病気です。それも通常自覚症状なく進行します。

旧庵原郡を含め富士川流域は全国でも有数なC型肝炎の多発地域です。平成元年にC型肝炎ウイルスが発見され、以後インターフェロンを中心とした治療が始まりました。ウイルスのタイプが1型の場合、難治性で数%しか排除できませんでした。

平成25年秋に従来のペグインターフェロンとリバビリンの併用に新たにシメプレビル（商品名：ソブリアード）を内服する3剤併用療法が開始されました。初回治療の成績（ウイルスを排除する）は90%前後まで向上しました。しかしインターフェロンを併用せざるを得ない方法で副作用が問題でした。

今回平成26年秋にインターフェロンを使わない内服薬だけの治療が始まりました。**ダクルインザとスンペプラ併用療法**です。ウイルスを直接標的とし作用する薬です。適応はジェノタイプ1のC型慢性肝炎または代償性肝硬変です。当初は高齢、血小板減少症、うつ病、自己免疫性疾患などを合併症として抱える患者さんのみ使用可能でしたが、本年3月に適応が拡大されました。この治療は2種類の薬を毎日24週間服用します。治療成績は90%前後で、年齢、男女差もほとんどありません。ただ元々薬剤に対し抵抗性がある場合、その効果は25～40%と低下します。そのため治療前に耐性ウイルスの有無を検査しています。副作用で多かったのは肝機能障害（黄疸、ALT上昇など）、発熱、頭痛などでした。投与開始後少なくとも12週までは2週間ごとに、それ以降は4週間ごとに血液検査が必要です。この治療は肝炎治療助成制度が受けられ、月の負担は1万円から2万円です。

今回のインターフェロンフリー治療はジェノタイプ1の肝炎ウイルスが対象ですが、平成27年5月下旬には新たにジェノタイプ2の肝炎ウイルスに対するインターフェロンフリー治療が承認される予定です。2種類の内服薬を約3ヶ月内服する治療で、治療効果は90%以上と報告されています。また副作用も貧血などで比較的軽いといわれています。

詳細については、地域医療支援室までお問い合わせください。

【お問い合わせ】0545-81-5577 内線2033 地域医療支援室

## 平成27年度から診療日程が変更になりました。

※○が下記医師の担当曜日となります。

順天堂大学医学部附属静岡病院

【眼科】松井 麻紀 医師

毎週木曜日 午前・午後

順天堂大学医学部附属静岡病院

【脳神経外科】菅 康郎 医師

毎週金曜日 午前・午後

順天堂大学医学部附属静岡病院

【内科（循環器）】大石 淳実 医師

毎週月曜日 午前・午後

	月	火	水	木	金
午前	○	-	-	○	-
午後	-	-	○	○	○

眼科：7月から火・金曜日の午前診療を再開いたします。

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	-	-	-	-	○

	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○

## 新人看護師 奮闘中!!

4月1日、真新しいユニフォームに包まれた  
4名の新人看護師を迎えました。

新採用者オリエンテーションを終え、ただいま技術研修が始まり、日々奮闘中です。先輩看護師の温かな指導の下、知識・技術の習得だけでなく、看護師としての姿勢や態度を学ぶため、努力を重ねています。同時にプレシャスナース(既卒の採用者)の研修も実施しています。

次年度、就職を考えている学生の皆さまおよび再就職をお考えの方、病院見学にぜひいらしてください。いつでもお待ちしております。インターンシップも予定しています。



## ガンマカメラ Gamma Camera

## 機器紹介

核医学検査はR I 検査やアイソトープ検査とも呼ばれていて、ごく微量の放射性物質（ラジオアイソトープ：R I）を含む薬を用いて病気を診断する検査です。この微量の放射性薬剤が注射などにより体内に入ると、特定の臓器（骨や腫瘍など）に集まりそこから放射線を発します。この放射線をガンマカメラ（シンチカメラ）と呼ばれる特別なカメラで体外から測定し、その分布を画像にします。

当院では、平成 27 年 1 月に各種疾病の発見に威力を発揮する新しいガンマカメラ（東芝製:Symbia E）を設置しました。



この装置は世界最先端の放射性医薬品や解析方法に対応できる新しいユニバーサルなガンマカメラであり、体内に投与した微量の放射性同位元素から放出されるガンマ線の体内分布を捉えることで CT 装置や MRI 装置には表現できない生体内の機能や代謝を反映する画像診断及び解析を行うことができます。

詳しい検査内容は、医師またはスタッフまでお気軽にお尋ねください。

## スタッフ募集

当院では、以下の職種について募集しております。

- ・ 保健師
- ・ 看護師
- ・ 薬剤師
- ・ 看護助手
- ・ 介護職

勤務日・勤務時間等については相談可能です。  
ご不明な点は、担当まで何なりとお問い合わせください。

【お問い合わせ】 0545-81-2211  
内線 12 総務課 総務担当

## 【案内図】



# 共立蒲原総合病院

〒421-3306 静岡県富士市中之郷2500番地の1  
TEL : ( 0545 ) 81-2211 FAX : ( 0545 ) 81-2208  
ホームページ : <http://www.kanbarahp.com>